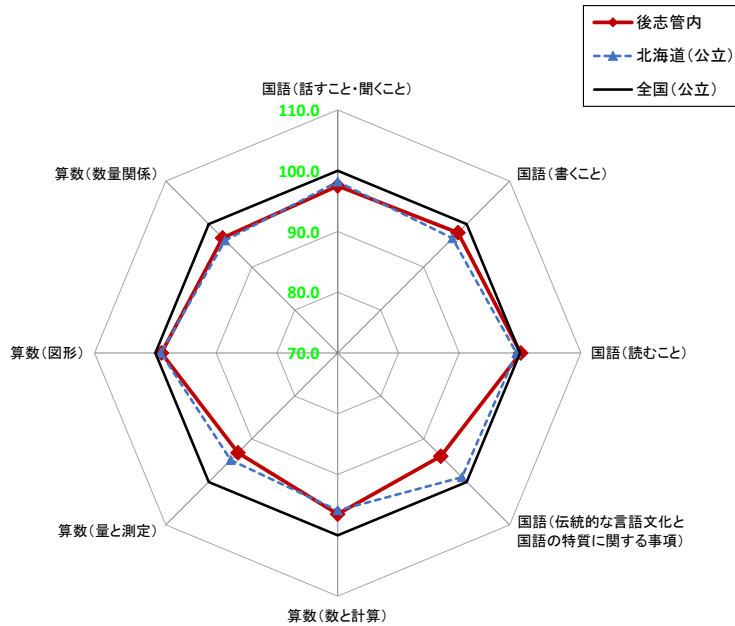


■小学校の状況(学校数:54校、児童数:1,373人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの

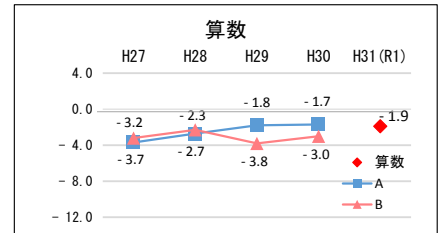
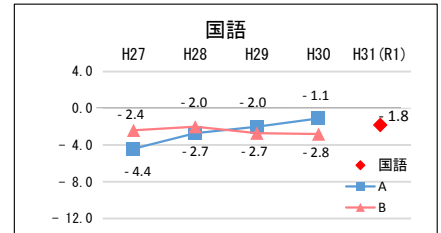
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率】

	国語	算数
後志	62[62.0]	65[64.7]
全国	64[63.8]	67[66.6]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

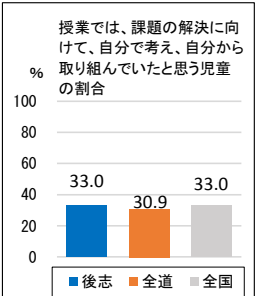


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

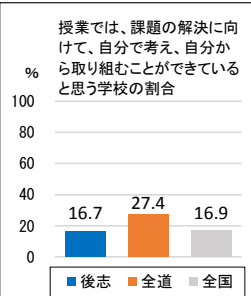
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

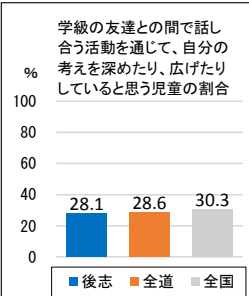
* 児童質問紙



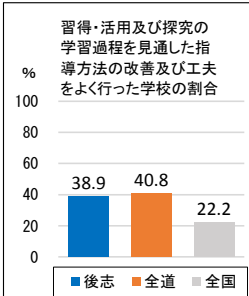
* 学校質問紙



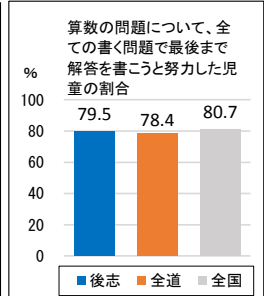
* 児童質問紙



* 学校質問紙

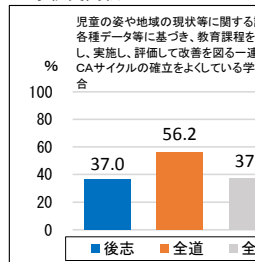


* 児童質問紙

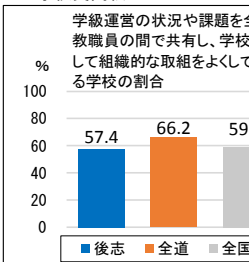


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

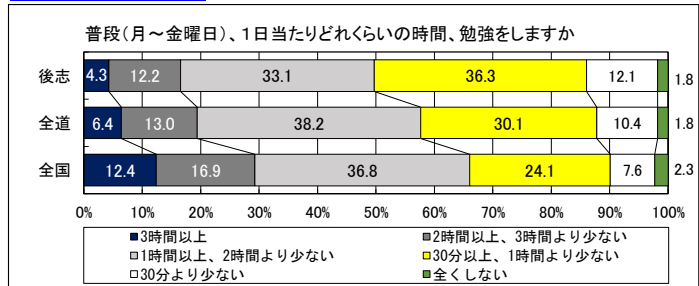


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



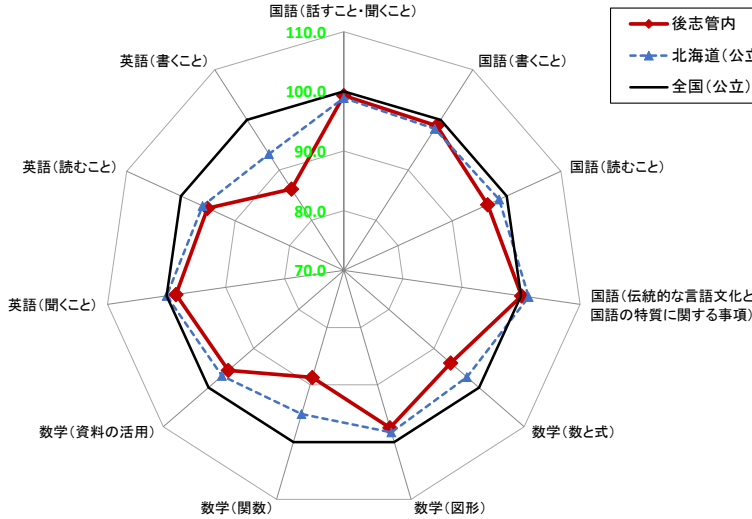
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は37.0%で、全国を下回っており、課題である。 ○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると回答した学校の割合は16.7%で全国を下回っているものの、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は33.0%で、全国と同様である。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をしている児童の割合は49.6%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査結果等の分析に基づき、教育活動の改善を図ることができるよう、学校評価及び各種調査結果を踏まえた検証改善サイクルの確立に向けた取組を充実させる必要がある。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることができるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した授業改善を推進する必要がある。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をしている児童の割合が増加するよう、学校と家庭が連携した学習習慣の確立を進める必要がある。

■ 中学校の状況 (学校数: 36校、生徒数: 1,327人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

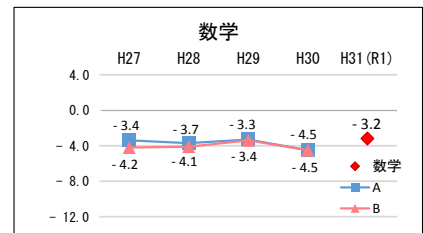
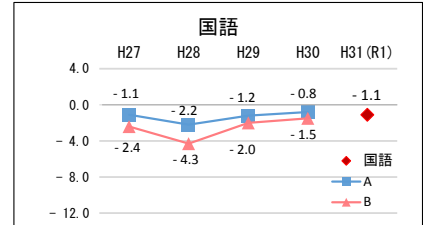


【平均正答率】

	国語	数学	英語
後志	72[71.7]	57[56.6]	52[52.4]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

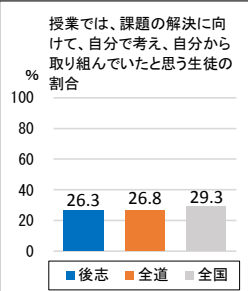


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

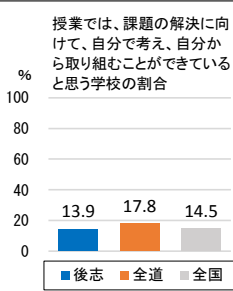
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

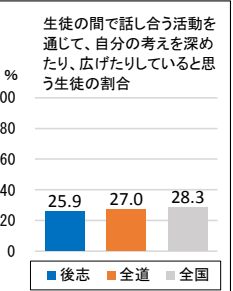
* 生徒質問紙



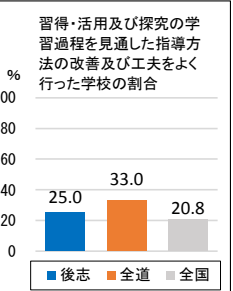
* 学校質問紙



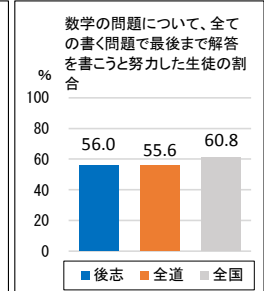
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

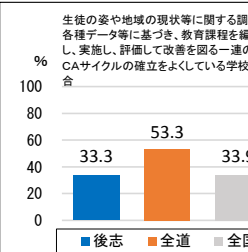


* 生徒質問紙

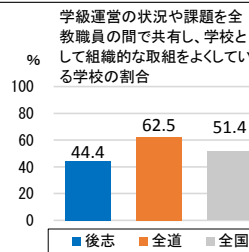


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

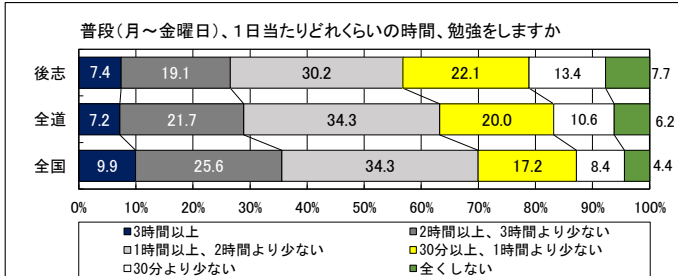


* 学校質問紙



学習習慣

* 生徒質問紙



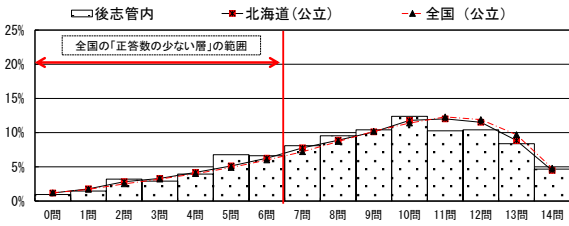
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は33.3%で、全国を下回っており、課題である。 ○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う学校の割合は13.9%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う生徒の割合は26.3%で、共に全国を下回っており、課題である。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をしている生徒の割合は56.7%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査結果等の分析に基づき、教育活動の改善を図ることができるよう、学校評価及び各種調査結果を踏まえた検証改善サイクルの確立に向けた取組を充実させる必要がある。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることができるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した授業改善を推進する必要がある。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をしている生徒の割合が増加するよう、学校と家庭が連携した学習習慣の確立を進める必要がある。

後志管内

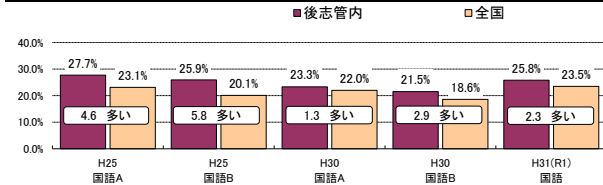
小学校国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,373	8.7 / 14	62.0	9.0	3.4
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4



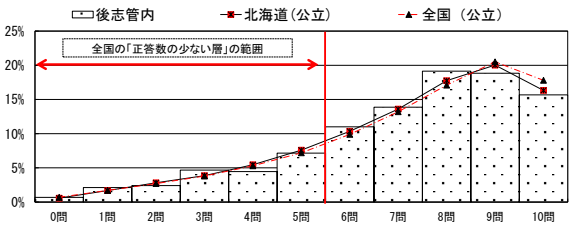
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



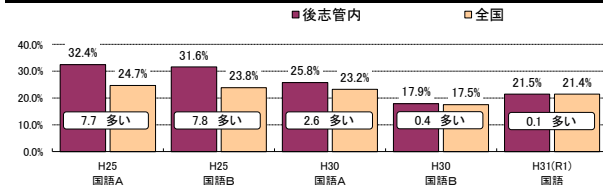
中学校国語

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,327	7.2 / 10	71.7	8.0	2.4
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4



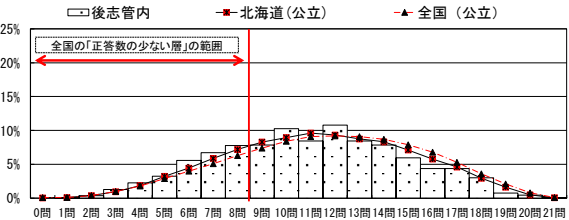
●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



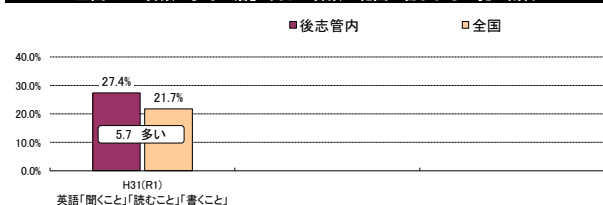
中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,325	11.0 / 21	52.4	11.0	3.8
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9



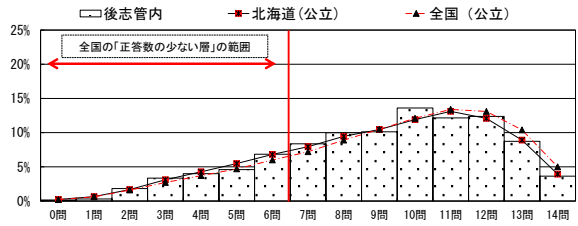
●全国の「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



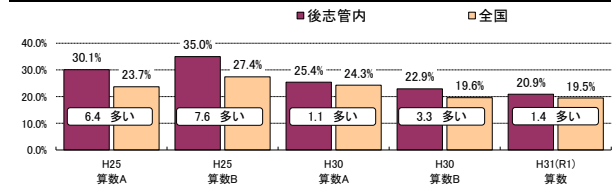
小学校算数

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,374	9.1 / 14	64.7	10.0	3.0
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1



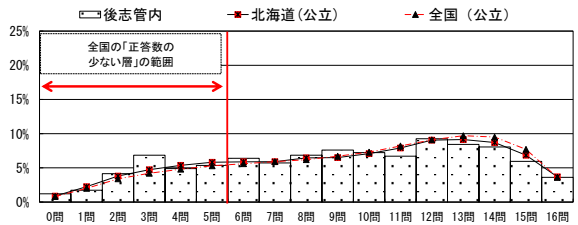
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



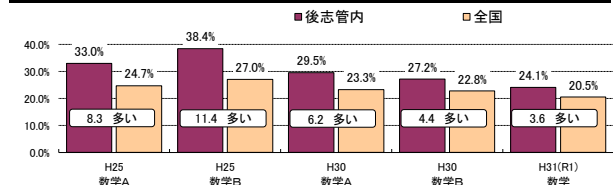
中学校数学

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
後志管内	1,328	9.1 / 16	56.6	9.0	4.2
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



【参考】【平成28年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

後志管内	全国
25.8%	21.3%
全国との差 4.5 多い	

小学校国語B

後志管内	全国
33.1%	29.8%
全国との差 3.3 多い	

小学校算数A

後志管内	全国
29.2%	24.2%
全国との差 5.0 多い	

小学校算数B

後志管内	全国
22.5%	20.0%
全国との差 2.5 多い	